



メディアセンターだより 9月号

令和4年9月
柏市立高柳中学校
柏市学校図書館指導員

夏休みを終え2学期を迎えました。まだ暑い日もありますが、「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から言います。秋は読書の秋・スポーツの秋・食欲の秋、たくさんの楽しいことができる季節です。3年生は受験勉強にも大切な時期ですね。読む力は受験にも大切な力です。時間をつくって読書をしましょう。

2学期も、授業や読書に必要な本を集めてお待ちしております。

防災の日 9月1日

防災意識を高めるためにもうけられた日。地震や台風などの災害について知り、これに対する心がまえを育てることを目的として、1960（昭和35）年に定められた。9月1日は、1923（大正12）年に関東大震災が発生した日であり、また、暦の上では台風の多い厄日とされる二百十日にあたることから、この日がえられた。

『防災の日(ぼうさいのひ)』、総合百科事典ポプラディア（Sagasokka!）より（2022-09-07 閲覧）

《災害に備えて命を守ろう！》

「線状降水帯」ってなんだろう？

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過・停滞することで作り出される雨域のことです。

線状降水帯が発生すると、大雨災害発生の危険度が急激に高まることがあるため、心構えを一段高めることを目的として線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけが行われます。



出典：気象庁 <https://www.jma.go.jp/>

新しい棚が入りました

メディアセンターに入って正面にある、新刊コーナーの棚が新しくなりました。これまでよりも、本が見やすくなりました。

まだ誰も読んでいない、新しい本もたくさん置いてあります。どんどん読んでみてください。

今月のおすすめ本

～災害に備えて～

『土木のずかん 災害に備えるわざ』

速水 洋志（共著）、水村 俊幸（共著）、
稲垣 正晴（共著）、吉田 勇人（共著）
オーム社 <510>

わたしたちの国では様々な自然災害が発生します。そんな災害から身を守り安心して便利に暮らせる安全な町づくりから、災害時の復旧工事まで、みんな土木のわざとパワーが使われています。自然災害とそれらに備える対策、わたしたちの暮らしを支えてくれる大切な土木の仕事について、わかりやすく説明します。

『ユニバーサルデザイン

つながる・ささえあう社会へ
『災害から学ぶユニバーサルデザイン』第2期 3
神保 哲生（監修）あかね書房 <369>

日本はさまざまな自然災害を受けやすい国土です。2011年に起きた東日本大震災を中心に、今まで発生した国内外の災害の教訓をひまえ、災害に強い社会づくりについて、いろいろな角度から考えます。また、防災対策、災害時・災害後の助けあいのありかた、情報提供の方法なども紹介します。

夏休み前に借りた本は返却しましょう。

出典：ライブラリーサーチ